（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所リズム　単位１			
○保護者評価実施期間	２０２５（令和７）年３月５日		～	２０２５（令和７）年３月３１日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	32	（回答者数）	18
○従業者評価実施期間	２０２５（令和７）年３月５日		～	２０２５（令和７）年３月３１日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	２０２５（令和７）年５月３０日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様が自己決定できるように複数の活動を準備し、活動に合わせて場所を変えることができること。	子どもたちが活動を自分で選択できるように、スイミング・サーキット運動・ICT機器による学習などをそれぞれの場所で職員が行っている。	子どもたちから「やりたい」の意見を聞き取り、活動内容に反映させていく。
2	学童クラブや近隣保育園との交流イベント、地域のイベントに参加など、地域に開かれた事業所運営を推進し、様々な人と関わることができること。	多くの機関や色々な世代の人と交流し、お子様が多様性を理解し、共感力や柔軟性が育まれるようにしている。	地域の清掃活動などを通して、地域に貢献する喜びを感じ、「地域の一員である」という意識が高めることができるようにする。
3	お子様や保護者様のニーズや思いに寄り添い、個別支援計画や日々の療育に反映させるていること。	利用日の活動の様子を写真や動画などを使い、保護者と情報を共有し、子どもの発達や様子についての理解を深めてもらう工夫をしている。	多くの保護者様と直接顔を合わせる機会を増やし、お子様や保護者様の思いを感じ取ることができるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	下校時刻や行事予定の情報の共有が難しいこと。	複数の情報伝達手段（電話、HUG、LINE、直接の伝達など）が使用されているため、情報が分散しやすく、一元的に管理・共有できていない。	欠席や下校時刻などについて、LINEとHUGでやり取りし、家庭も事業所も文字として確認ができるようにする。
2	保護者様と直接顔を合わす機会が少ないこと。	保護者様と顔を合わせる機会として送迎があるが、お子様は早く家に入りたいという気持ちが強かったり、車内に他のお子様を待たせたりと短時間での申し送りになっている。	保護者やきょうだいが参加できるイベントを開催する。また、帰りはできるだけ事業所にお迎えに来ていただくようにし、事業所でのお子様の様子を見ていただきながら情報共有ができるようにする。
3	職員間での情報共有が不十分な場合があること。	勤務日や勤務時間が多様であるため、全員そろっての情報伝達や共有が難しい。	支援開始前の打ち合わせ時間を長く設定し、できるだけ多くの職員がお子様に関する最新の情報を共有することができるようにする。

保護者等向け　児童発達支援評価表

公表日：２０２５（令和７）年５月３０日

事業所名：児童発達支援　多機能型事業所リズム 単位１　　対象人数（保護者）7人　回答者数 7人　回収 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6			1	・もう少し広いと嬉しいなと思いますが施設的に難しいのも理解しています。 ・色々な活動に取り組んでいると思います！	室内だけではなく、敷地内にある学習室、スイミングスクール、学童クラブVI-VAや中庭、エントランスホールなどいろいろな場所で活動や遊びができるようにしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6			1	1日の利用者人数が決められていると聞きましたので、職員の配置数も考慮されていると思います。	多様な活動に目が届く支援を行うために、基準よりも多く人員を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	1		1	・細かいところは分からないので分からないにしました。	床の色や仕切りネットを使い遊ぶ場所・活動場所が視覚的にわかりやすいように工夫しています。室内は段差がないようにスロープにしています。階段に手すりを設置しています。歩行に支援が必要なお子様には、必ず職員が随伴し安全に移動できるようにしています。また、デイサービス側ににエレベーターを設置していますので、そちらを利用することもあります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					活動中は空気清浄機(除菌用)の使用と、こまめな消毒を行っています。 子どもたちが使ったおもちゃなども定期的に消毒を行っています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7				・特性を重視し、また丁寧に接していると思います。	法人内だけでなく社外とも連携した研修を実施し、職員の専門性を高めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7					支援プログラムはホームページにて公表しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					フェイスシートや面談・担当者会議などでニーズを把握し、発達に応じた課題の計画を立てるようにしています。
	8	児童発達支援計画（個別支援計画）には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6			1		ご家族やご本人の思いをもとにガイドラインに則った、具体的な支援内容を設定しています。
	9	児童発達支援計画（個別支援計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	6	1				お子様一人ひとりに応じた支援を大切にしています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7					楽しみながら活動できるように、ゲーム的要素を取り入れるなどを工夫しています。 作業療法士の定期訪問によるサーキット活動も開始しました。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1		4	・地域交流など、色々力をいれていると思います。	寿スイミングスクールの協力のもと、12月にのびるっこ保育園さんと一緒に音楽遊びとスイミング活動を行いました。 また、VI-VA学童さんとお菓子パーティーや夏休みのドッヂビー大会、季節イベントの定期交流を行っています。 宜野湾市にある児童デイサービスさんとの合同運動会イベントも開催しました。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					契約時に読み合わせをして確認をしています。ご不明点につきましては、いつでもお問い合わせください。
	13	児童発達支援計画（個別支援計画）を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					現在、保護者様とのアセスメントやモニタリングでの情報共有を基に計画書を作成し、HUG上で確認していただいております。変更点や修正などその都度承っています。対面での説明をご希望の場合には、ご連絡ください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5			2		１１月に作業療法士による「親子あそび教室」を開催し、多くのご家庭に参加いただきました。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7					電話やHUGなどでお子様の様子をお伝えするようにしています。保護者様からもご家庭でのお子様の姿をお知らせいただき、支援に役立てています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6			1		HUGや電話等だけでなく、直接お会いしてお話しする機会を増やすようにしています。保護者様に寄り添っていけるように努めてまいります。ご心配な事・ご相談したい事がありましたらお気軽にお知らせください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					お子様一人ひとりを大切にした支援を心がけていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2			5		９月「親子ハイキング」・１１月「親子あそび教室」を開催し、多くの保護者様やきょうだいに参加していただきました。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7					管理者が迅速に対応できるように連絡体制を整えています。些細なことでも気になることがありましたら、どうぞご連絡ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					HUG・電話・送迎や来所でのお迎え時など様々な方法で情報共有するようにしています。また、お子様の活動の様子やリズムでの表情を写真や動画などでお伝えしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7				・毎回の、サービス提供記録が細かく記録されており、子どもがどのようにリズムさんで過ごしていたのかわかりやすくてとても安心します。	HUGでのリズムだよりを通して、活動やお子様の様子をお伝えするようにしています。ホームページにも、活動の様子を掲載しております。インスタグラムもぜひご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					鍵付きの書庫に個人情報を保管し、取り扱いの注意を全職員が徹底するようにしています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			3		各マニュアルを策定し、警察の方にご協力・ご指導いただき、不審者対応訓練を全職員で行いました。消防署では、救命救急訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			3		防災週間を設定し、紙芝居や動画で学んだ後、実際に避難する活動を行っています。 夏休みイベントでは、南風原ボーイスカウトの方を招き、災害時の身を守り方、防災グッズの学習を職員も一緒に行いました。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7					お子様の安全を第一に考え、支援をしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			2	・送迎時のミスが起こった時に、管理者の方から即時にご連絡を頂き、また今後の対応についても私たちと一緒に考えて対応する事ができてとても信頼感が持てました。	ご迷惑、ご心配をおかけして申し訳ありませんでした。 お子様の安全を第一に考え、支援をしていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	6	1				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6	1			・毎回、「今日はリズムさん？」と楽しみにしています。 ・帰宅後の満足気な表情から、本人もとても楽しんでいると思います。	お子様一人ひとりの”安心して楽しめる場所”となるように、職員一丸となり取り組んでまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7					リズムの活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

保護者等向け　児童発達支援評価表

公表日：２０２５（令和７）年５月３０日

事業所名：児童発達支援　多機能型事業所リズム 単位２　　対象人数（保護者）15人　回答者数 11人　回収 73.3%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	1		1		室内だけでなく、敷地内にある学習室(まーべる)、スイミングスクール、学童クラブVI-VAや中庭、エントランスホールなど様々な場所で活動や遊びができるようにしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9			2	・職員の人数が分からない為	多様な活動に目が届く支援を行うために、基準よりも多く人員を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	2				床の色や仕切りネットを使い遊ぶ場所・活動場所が視覚的にわかりやすいように工夫しています。室内は段差がないようにスロープにしています。階段に手すりを設置しています。歩行に支援が必要なお子様には、必ず職員が随伴し安全に移動できるようにしています。また、デイサービス側ににエレベーターを設置していますので、そちらを利用することもあります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10			1		活動中は空気清浄機(除菌用)の使用と、こまめな消毒を行っています。 子どもたちが使ったおもちゃなども定期的に消毒を行っています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11					法人内だけでなく社外とも連携した研修を実施し、職員の専門性を高めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11					支援プログラムはホームページにて公表しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11					フェイスシートや面談、担当者会議などでニーズを把握・分析し、発達に応じた課題の計画を立てるようにしています。
	8	児童発達支援計画（個別支援計画）には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11					ガイドラインに則って、お子様が楽しみながら活動できるように工夫しています。これからも具体的な支援内容を設定していきます。
	9	児童発達支援計画（個別支援計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	11					お子様一人ひとりに応じた支援を大切にしています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11					楽しみながら活動できるように、ゲーム的要素を取り入れるなどを工夫しています。 作業療法士の定期訪問によるサーキット活動も開始しました。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	3	5	・地域の保育園、幼稚園等の関わり方が分からない。 ・学童さんや高齢者向けデイサービスの方々との交流を楽しんでいます。ありがとうございます。	寿スイミングスクールの協力のもと、12月にのびるっこ保育園さんと一緒に音楽遊びとスイミング活動を行いました。 また、VI-VA学童さんとお菓子パーティーや夏休みのドッチビー大会、季節イベントの定期交流を行っています。 宜野湾市にある児童デイサービスさんとの合同運動会イベントも開催しました。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					契約時に読み合わせをして確認をしています。ご不明点につきましては、いつでもお問い合わせください。
	13	児童発達支援計画（個別支援計画）を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					現在、保護者様とのアセスメントやモニタリングでの情報共有を基に計画書を作成し、HUG上で確認していただいております。変更点や修正などその都度承っています。対面での説明をご希望の場合には、ご連絡ください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8		1	2		１１月に作業療法士による「親子あそび教室」を開催し、多くのご家庭に参加いただきました。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11					電話やHUGなどでお子様の様子をお伝えするようにしています。保護者様からもお子様のことを詳しく知らせていただいており、大変感謝しています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1				HUGや電話等だけでなく、直接お会いしてお話しする機会を増やすようにしています。保護者様に寄り添っていけるように努めてまいります。ご心配な事・ご相談したい事がありましたらお気軽にお知らせください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11					お子様一人ひとりを大切にした支援を心がけていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1	2	2		９月「親子ハイキング」・１１月「親子あそび教室」を開催し、多くの保護者様やきょうだいに参加していただきました。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10			1		管理者が迅速に対応できるように連絡体制を整えています。些細なことでも気になることがありましたら、どうぞご連絡ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					HUG・電話・送迎や来所でのお迎え時など様々な方法で情報共有するようにしています。また、お子様の活動の様子やリズムでの表情を写真や動画などでお伝えしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11				・利用のたびにHUGでの活動記録が詳細に書かれており、定期的に写真も添付されて届くので助かっています	HUGでのリズムだよりを通して、活動やお子様の様子をお伝えするようにしています。ホームページにも、活動の様子を掲載しております。インスタグラムもぜひご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					鍵付き書庫に個人情報を保管し、取り扱いの注意を全職員が徹底するようにしています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		3		各マニュアルを策定し、警察の方にご協力・ご指導いただき、不審者対応訓練を全職員で行いました。消防署では、救命救急訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			3		防災週間を設定し、紙芝居や動画で学んだ後、実際に避難する活動を行っています。 夏休みイベントでは、南風原ボーイスカウトの方を招き、災害時の身を守り方、防災グッズの学習を職員も一緒に行いました。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8			3		お子様の安全を第一に考え、支援をしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			1		迅速かつ適切に対応するようにしています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11					お子様一人ひとりの”安心して楽しめる場所”となるように、職員一丸となり取り組んでまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10			1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	11					リズムの活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援　多機能型事業所リズム 単位１

公表日　２０２５（令和７年５月３０日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・活動を分けて広く使えるように工夫している。 ・いろいろなスペースを分けて使用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		・送迎に関して出入りが多い為、利用者の学校での様子が引き継ぎ出来てない場合もあるのかもしれない。職員同士の共有するべき所はする必要がある。 ・支援内容により、マンツーマンで支援を行っている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・張り紙等で注意喚起を行っている。 ・手すりはあるが危ないと感じたことがある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・ケガがないよう活動スペースを分けている ・定期的に清掃や遊具の消毒など行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	6	1		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1		・子どもの支援方法が全体に伝わらないことがある。多くの職員がミーティングに参加できるようにしたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・評価表を把握し、業務改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・全体ミーティングや個別ミーティングで意見交換を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	・相談員や他事業所職員を招き、施設内見学や支援の様子を観察していただいている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・不適切保育の研修を行った。 ・定期的にさまざまな研修を行っている。	・障害特性や事例に基づいた研修も行うと職員の支援の質が高まる。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	7		・全体で意見交換しながらプログラム作成を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・フェイスシートを活用したり、保護者と面談をしている。 ・定期的にアセスメントを行い、課題を分析している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	・情報共有を行い、職員が理解出来るようにしている。	・支援方法など職員に周知する必要がある。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			・計画書は作っているが、情報共有が課題と感じている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・アセスメントや記録を通して状況を確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・子どもの支援に必要な支援内容が設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・毎月のMTで活動プログラムを作っている。 ・定期的に活動を立案するミーティングを行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・運動療育（サーキット活動）のプログラムを作業療法士さんと一緒に行っている。 ・定期的にミーティングを行い、プログラムが固定化されないようにアイディアを出し合っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・こどもの状況より、個別療育と集団療育を組み合わせて支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・支援前にMTを行ってる。活動の内容や担当、子どもの様子などを伝えている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6	1	・振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・日報に活動の振り返り、ヒヤリハットなどを記入し共有している。 ・日々の支援を記録しており、支援について検証、改善している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・定期的にモニタリングを行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・児発管、必要に応じて指導員と一緒に会議に参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	6	1	・外部から講師を呼んで研修を行っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7		・併設している学童クラブや近隣保育園との合同イベントを実施している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・活動の様子をHUGや電話、LINEなどで日常的に伝え合い、共通理解をしている。	・なかなか会えない保護者もいる。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・作業療法士さんと親子参加型のペアトレを行った。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約時に書面を読み上げながら、説明を行っている。また、必要に応じて適宜行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・希望する保護者とは、面談の機会を設けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	・９月「親子ハイキング」、１１月「親子あそび教室」を開催し、多くの保護者様やきょうだいに参加していただきました。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・お子様や保護者様からの問い合わせがあった場合には、事実をすぐに確認し、迅速かつ適切に対応するよう努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・リズム便りを毎月発行している。必要に応じて手紙やＬＩＮＥも活用してお知らせしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・書類は、鍵の閉まる書庫に保管している。写真などの公開については、保護者様の同意を得ている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・手紙・電話・LINEと様々な手段を使って意思の疎通や情報伝達を図っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		・スイミングスクールと合同で利用者様や地域の方を招待し、イベントを開催した。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・マニュアルを策定し、職員で共有している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・定期的に避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・保護者様に確認をし指示を受けている。毎日の支援前の打ち合わせで服薬等について確認をしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・保護者様に確認をし指示を受けている。アレルギー配慮児については、一覧にして全職員が把握するようにしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・安全に活動することを第一に支援プログラムを設定している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・ささいなことでも記録を残している。それを基に事例集を作成し、月１回ヒヤリハットミーティングを実施している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・年２回の研修を必ず実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		・やむを得ない場合は、法人で定めた「身体的拘束等適正化のための指針」に則って行うこととしている。	

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援　多機能型事業所リズム 単位２

公表日　２０２５（令和７）年５月３０日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・以前より棚等の配置だいぶ工夫しています。 ・活動や時間で使う場所・人を変えています。	・室内に対しての児発、放デイ児童の割合の調整が改善の余地があると思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	・活動によって配置は変わってきますが、配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	・子どもたちが過ごす部屋には、危険なものは置かないようにし、倉庫に片付けられるものは片付けるようにしています。	・職員も整理整頓身につけなければ、子どもたちもわからないと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・食事やおやつ前、活動ごとに消毒作業、週末はおもちゃなども消毒しています。	・トイレに関しては女児トイレと男児トイレ別々に欲しいところです。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	7	1	・活動ごと、時間ごとでわけています。	・個室を用意できるように改善したいです。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		・イベント終了後毎、終日に行っています。 ・業務後に行なっています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・回収後にMTで確認をしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・送迎ミーティングの際に、日々職員で共有できるようにしています。 ・毎月のミーティングをしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	・相談員や他事業所職員を招き、施設内見学や支援の様子を観察していただいています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・希望する研修を受けています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	8		・現場の声をこまめに聞き取り、話し合えるよう機会を設けています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		・毎年、フェイスシートや面談でアセスメントし、個別支援計画の見直しをしています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・関わりの多い職員からもお子様の様子を聞いて、個別支援計画に取り込んでいます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・現場の職員が把握できるように話し合うことを今後は増やしていきたいです。 ・モニタリングの際に、現場の職員と一緒に評価を行い、共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		・フェイスシートで確認しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・移行先や地域との関わりをもつようにしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・定期的なミーティングで行なっています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・選択肢をいくつか用意しています。 ・活動ミーティングを月に1回～2回持ち、職員のアイディアを取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		・時間、活動によって個別と集団をわけています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・朝に社員間で、昼にパート職員も交えて行っています。 ・立ちミーティングを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	8		・活動日報を作成して共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・提供時間終了後に行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・定期的にモニタリングを行っています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・関わりが多い職員から話を聞き、児発管が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		・対応できるようにしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		・情報共有会議が行われる際は、参加するようにしています。	

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	6	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8		・年末年始の行事であったり、機会を設けています。 ・餅つき大会やプールでのイベント等を開催しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・お迎え時の子育て支援のコミュニケーションを大事にしています。 ・お迎えに来られる保護者と直接様子を見てもらいながら伝えています。また、電話やHUGなども活用していま	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	・保護者・職員参加型の研修などをしています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・契約時にお話をしています。また、必要に応じて適宜行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	8			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		・担当者会議やHUG・TELにて確認・同意をしていただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・ご希望がある際は、相談・面談を行なっています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		・運動会や保護者参加型のイベントを行なっています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・お子様や保護者様からの問い合わせがあった場合には、事実をすぐに確認し、迅速かつ適切に対応するようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・HPやHUGなどで発信しています。	・Instagramも活用できるようにしていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・鍵付き書庫にて保管しています。写真などの公開については、保護者様の同意を得ています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・HUG・LINE・TEL・面談など様々なツールを使っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	・スイミングスクールと合同で利用者様や地域の方を招待し、イベントを開催しました。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		・職員の訓練は年に2回、子どもたちと一緒には防災週間を設けて、レクで行なっています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・職員の訓練は年に2回、子どもたちと一緒には防災週間を設けて、レクで行なっています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		・服薬の場合は、薬の処方内容のコピーを行なっています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		・アレルギーがあるお子様に関してはHUGのトップページにて表示され、職員同士でも把握しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		・安全に活動することを第一に支援プログラムを設定しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	8			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・毎月、ヒヤリハットミーティングを行なっています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・年に2回、全職員向けに研修を行なっています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		・身体拘束を行う状況がありませんが、行う場合は個別支援計画書の記載・保護者への同意をもらいます。	